



平成 30 年度第 1 号



サンフランシスコ日本語補習校
理事会通信

2018 年 4 月 11 日

理事長あいさつ

松田暁博 理事長

年間を通して寒暖の差の少ないサンフランシスコ・ベイエリアですが、暖かい春の日差しが何よりうれしい季節となりました。

新入生の皆さん、そして、在校生の皆さん、入学・進級おめでとうございます。新しく通うことになった



補習校、新しいクラス、先生、そして同級生。大きな期待とともに新学年が始まりました。皆さんにとって、楽しく充実した 1 年になるように願っています。

このサンフランシスコ日本語補習校は今から約半世紀前に、児童・生徒数 101 人、講師 5 人で教会を校舎として借用する形で始まりました。それが今では幼児・児童・生徒数は 1700 名を超え、120 名の教職員で運営される世界最大規模の日本語補習授業校に成長しました。これは、ひとえにこれまで運営に携わってきた保護者の皆さまのお子さまに対する愛情があつてこそと、感謝しております。

保護者の皆さまにおかれましては、本校の「保護者参加型の学校」という基本理念にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。皆さまがお子さまと一緒に補習校の活動に参加していただいていることが、お子さまの日本語学習への意欲に繋がると確信しております。さらに、皆さまのご協力なしには、本校の運営が成り立ちません。今後とも引き続きご支援のほど、よろしく願います。

また、本校は、文部科学省および外務省、在サンフランシスコ日本国総領事館の皆さまから教員の派遣や補助金といった大きな支援をいただいております。特に昨年から安全対策においてもご助言をいただき、感謝に堪えません。北加日本商工会議所 (JCCNC) の皆さまにおかれましても、多岐に渡って変わらぬご支援をいただき、ありがとうございます。

私たちの未来は、私たちの子供たちに委ねられています。その子供たちが豊かな感受性と将来に大きな夢もてるように、理事会、事務局、教職員一丸となって邁進していきたいと思ひます。

校長あいさつ

上里多一 校長

平成 29 年度 (2017 年度) も 3 月 17 日の卒業式、修了式で締めくくりとなりました。お陰様で大過なくこの 1 年を終えることができたことを感謝申し上げます。卒業式は、4 校 (サンフランシスコ校 2 校、サンノゼ 2 校) とも感動のうちに終えることができました。



卒業生においては、それぞれの進路先で本校で学んだことや経験を生かし自信と誇りを持ち各々のステージで活躍することを期待したいと思います。

さて、「平成 29 年度末主任研修会」が 3 月 17 日に幼小サンノゼ校 (ハーカー校) において行われました。研修会は、新旧理事長の挨拶を頂いた後、校長により平成 30 年度の学校運営方針の説明がありました。説明では、次年度に重点的に取り組んで欲しい内容として、昨年度の状況を踏まえ「避難訓練の充実強化」と「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善等を実践して欲しいとの話がありました。

次に、日本の教育の動向ですが、幼稚園では平成 30 年度から「幼稚園教育要領」が全面実施となります。また、小学校では学習指導要領の移行期間に入り移行措置が行われこととなります。尚、中高でも移行措置がありますが、本校での実施教科に関わる部分では次年度平成 31 年度以降となりますので平成 30 年度の指導内容に変更はありません。

小学校での移行措置内容の一部を紹介しますと、漢字配当表に示されている漢字がこれまでの 1006 字から 1026 字になり、小学校で教わる漢字は 20 字増えることとなります。

今、日本の学校では、学習指導要領の全面実施に向けた移行措置への対応や新学習指導要領の理念に沿った教育課程の編成等に余念のないところだと思ひます。本校においても、新学習指導要領の求める資質・能力 (「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」) の育成を目指し昨年度から、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進めているところであります。次年度も引き続き「主体

的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進め「教える授業から考えさせる授業」への転換を軸に推進してまいりたいと思いますのでご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

新理事所感（役員・五十音順）

林竜也（副理事長・総務委員長）

本年度、副理事長及び総務委員長という重要な担当を務めさせていただくことになりました林竜也と申します。

4年生の息子がサンノゼ校に通っております。補習校が子供たちにとって楽しく日本語で教育を受けられる場、そしてより多くの日本文化に触れられる場になるように微力ながら尽力いたす所存でございます。一年間よろしくお願いいたします。



水谷圭佐（監査役・法規委員長）

一昨年より理事会に参加させていただいています。

5年生になる息子がサンフランシスコ校に通っています。子どもたちが安全で健やかに安心して学べる環境が維持できるよう、微力ではありますが補習校のために尽力していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



高村竹美（財務役）

今年度より理事会に参加させていただくことになりました。

3年間、図書委員として生徒さんたちがのびのびと成長する姿を身近に感じながら、補習校が先生方や事務局の方々をはじめ、多くの保護者の方々のご尽力によって支えられていることを身をもって感じました。

これからも子供たちの笑顔がたくさん見れますよう、経験豊かな理事会の方々と一緒に、少しでも補習校のお役に立てるように頑張っていきたいと思います。一年間どうぞよろしくお願いいたします。



大沢省一

（財務委員長）

昨年度に引き続き理事会をお手いさせていただきます。小学校6年生の娘がサンノゼ校でお世話になっております。

当地で体系的に日本語および日本の文化を学べる補習校の存在は貴重だと思います。一方で、平日に通う現地校の活動が忙しいにもかかわらず、土曜日に日本語補習校に登校してくる子供達の姿をみると、本当に大変だろうと感じます。この子供達のがんばりに応えられるような、安全で楽しい補習校の経営に向けて理事会を通じて尽力していきたいと思います。これから1年間宜しくお願いいたします。



上田のりこ

昨年度に引き続き理事会に参加させていただきます。サンノゼ校に6年生になる息子がおります。

昨年度は保護者会役員また理事として補習校について学ぶ機会を頂きました。その経験をもとに生徒、保護者共に安心して通えるより良い補習校を目指し取り組む所存です。一年間宜しくお願いいたします。



近江真由美

新年度より、サンフランシスコ校保護者会副会長の任を賜りました。

今年中学3年生になる双子の子どもたちは、補習校にお世話になること早や9年目です。親子共々希望と不安で胸を膨らませて入学式に参列したことがつい昨日のようですが、ここまで補習校を続けてこられたのは、先生方をはじめ保護者の方々のご尽力があつてのことです。今年1年間、補習校で学ぶ子どもたちには、校歌にあるように「いつか世界の架け橋に」なって欲しいと願いながら、少しでも補習校コミュニティのお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



奥山博子

昨年度に引き続き理事会への参加となります。6年生の息子と5年生の娘がサンノゼ校小学部に通っています。

今年度が理事三年目、最終年度です。これまでの経験を活かして補習校運営にさらに貢献していけるように努めていきたいと思っています。これからの一年間どうぞよろしくお願い致します。



小泉拓永

三年前にサンフランシスコ校の保護者会の代表として携わって以来、本年度で理事三年目となります。

本校が保護者の皆様、先生方若しくは事務局の皆様の御尽力で成り立っていることを痛感して参りました。

毎週土曜日、授業で学びそして休み時間に遊んでいる子供達の笑顔を見るのを楽しみにしています。

今年一年間宜しくお願いいたします。



鈴木雅浩

今年度のサンノゼ校保護者会会長として理事会に参加させていただくこととなりました。

補習校は、海外で生活する子どもたちが、日本語で学び、日本の文化・慣習を体験できる大切な場所だと感じています。また、保護者にとっても、「日本」をキーワードにしたネットワークを広げられる貴重な機会だと思います。補習校に関わる皆さんのお役に立てるよう努めて参りますので、ご支援、ご協力のほど宜しくお願いいたします。



谷朋紀

昨年度に引き続き理事会に参加させて頂くことになりました。サンフランシスコ小学部に2年生の息子がお世話になっております。

理事会を通じて日本語補習校に通うお子様達のより良い日本語・日本文化の学習環境に貢献できるよう鋭意努力させて頂く所存でございます。至らぬ点多々あるかと思いますが本年度も一年間何卒宜しくお願い申し上げます。



益田良夫

2018年度保護者会副会長及び理事を勤めさせて頂きます益田と申します。現在3年生の息子がサンノゼ校でお世話になっております。

日本語での交流を通して多くのことを学んでいける日本語補習校の存在はとても貴重なものだと感じております。その中で保護者会の役割は、学校と保護者の懸け橋となって子供達に楽しく学校生活を送ってもらう為のものだと思っています。この素晴らしい環境をよりいいものにできるよう、一人でも多くの方のお声を反映させつつ、より充実した運営をしていきたいと思っております。御父母の皆様のご理解とご支援そしてご協力をよろしくお願い致します。微力ではありますが補習校のために尽力していきたいと思っております。一年間どうぞよろしくお願い致します。



御子柴直樹

今年度よりサンフランシスコ校保護者会会長として理事に参加させて頂くことになりました。

小学4年の娘がお世話になっております。4年前に日本より米国に移住いたしました。初めて補習校を拝見し、子供たちが米国で現地の文化で育ちながら日本の文化に触れるこの環境、及び日本の良い文化を学校・保護者がコミュニティとして大切に守っていることに大変感銘いたしました。是非この貴重で素晴らしい環境の発展に、微力ながら貢献出来ればと思っております。子供たちの素晴らしい未来に向けて、より良い体験・学習ができる環境作りに精一杯の努力をさせて頂く所存です。どうぞ1年間よろしくお願い致します。



事務局よりお知らせ

人事異動

退職	小 SF 教員	ローズ志乃	3/31 付け
退職	小 SF 教員	コノリー千恵	3/31 付け
退職	小 SF 教員	寺田恵理子	3/31 付け
退職	幼 SJ 教員	キートン由美	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	佐藤真希子	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	独古充子	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	青木淳子	3/31 付け
退職	小 SJ 養護	ハートウェル真紀子	3/31 付け
退職	中高 SF 教員	木本直光	3/31 付け
退職	中高 SF 事務	岩橋千鶴	3/31 付け

退職	中高 SJ 教員	有富由美子	3/31 付け
退職	中高 SJ 教員	イエン理子	3/31 付け
退職	中高 SJ 教員	新井冬美	3/31 付け
採用	小 SF 教員	福本和美	4/1 付け
採用	小 SF 教員	金森英子	4/1 付け
採用	小 SF 教員	石塚洋子	4/1 付け
採用	小 SF 教員	鳥谷部陽子	4/1 付け
採用	幼 SJ 教員	田中千穂	4/1 付け
採用	幼 SJ 教員	森脇美也子	4/1 付け
採用	小 SJ 教員	木村麻理子	4/1 付け
採用	小 SJ 教員	東堂美奈子	4/1 付け
採用	小 SJ 教員	池野綾女	4/1 付け
採用	小 SJ 養護	ウォルバートミキ	4/1 付け
採用	中高 SF 教員	金森広	4/1 付け
採用	中高 SJ 教員	プレスコット房子	4/1 付け
採用	中高 SJ 教員	松本道子	4/1 付け
採用	中高 SJ 教員	石井昭子	4/1 付け
採用	中高 SJ 教員	安武泰三	4/1 付け
異動	幼小 SJ→中高 SJ	堀郁代	4/1 付け
異動	幼小 SJ→中高 SJ	サンダース直美	4/1 付け
異動	中高 SJ→幼小 SJ	加藤郁子	4/1 付け

サンノゼ校寄付の報告

3月3日、平成29年度サンノゼ校保護者会より、幼小中高部サンノゼ校へ\$1500+本年度の余剰金\$500を図書補助費としていただきました。また、幼小部サンノゼ校へは、ドキュメントカメラ6台、マイクスタンド1台、拡声器1台、電子ピアノ用ケース1台を贈呈品としていただきました。いずれも活用させていただきます、子ども達に還元して参ります。

保護者の皆様、ありがとうございました。



4月～5月の行事

日付	サンフランシスコ校	サンノゼ校
4/7(土)	入学式・始業式	入学式・始業式
4/14(土)		
4/21(土)	避難訓練 中学部入学試験説明会(幼小部)	避難訓練
4/28(土)		中学部入学試験説明会(幼小部)
5/5(土)	保育/授業参観・学級懇談会(幼小部)	授業参観・学級懇談会(小学部)
5/12(土)		保育参観・学級懇談会(幼稚部)
5/19(土)	授業参観・学級懇談会(中高部) 高等部進学説明会(中高部)	授業参観・学級懇談会(中高部) 高等部進学説明会(中高部)
5/26(土)		

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。発行人：松田暁博
 San Francisco Japanese School
 22 Battery Street #612, San Francisco, CA 94111
 電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542
 電子メール： 理事会・事務局 office@sfjs.org
 学校 sfjs@sfjs.org
 ウェブサイト：<http://sfjs.org/>
 理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等には一切お答えいたしかねます。
 無断複製・転載を禁ずる。©San Francisco Japanese School 2018
 All Rights Reserved.